

千島連盟別海町支部・青年部通信 No.59

2013(平成 25).1.15 発行

ご挨拶

新しい年が明けました。昨年も皆様には大変お世話になりありがとうございました。昨年来、日本の領土をめぐる周辺国との摩擦により緊迫した事態が続いております。一連の事態は皮肉にも日本人に領土とは何かを問い直させる出来事でもありました。報道に対する反応などから若い方でも領土の意味を認識し高い関心をもっていると感じましたが、国民が関心を高め、発信し続けなければこうしたことは今後も続くと思われざるを得ない状況です。

世界がグローバル化した今は、より複雑な利害関係を踏まえ高いレベルでの持続的な交渉がなければ領土問題に前進はないと思います。

北方領土問題 68 年という歳月は、返還運動を牽引してこられた元島民にとってはもちろん、運動を引き継いだ後継者にとっても長く重たい歴史です。

新政権は早々にロシア大統領とも電話会談を行ないました。この 16 日にも山本内閣府北方担当大臣との懇談が予定されています。今年こそ前進あることを期待し、皆さんの声を伝え力強くうったえてまいりたいと思います。

非常に厳しい寒さが続いております。皆様には健康にご留意され、どうぞこの一年もお元気で過ごしてください。今年もご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

支部長 白田

2 月は北方領土返還運動全国強調月間 ご参加ご協力をお願いします！

2 月 7 日「北方領土の日」根室管内住民大会

■元島民関係者に限らず、地域の方お誘いあわせご参加ください。

【日 時】 平成 25 年 2 月 7 日(木) 12:00~15:10

【場 所】 根室市総合文化会館 大ホール

【参加申込】 1 月 21 日までに推進員へご連絡ください。
(TEL 0153-75-2148、ファックス 0153-75-0457)

【内 容】 ①住民大会式典、北方領土返還の叫び 12:00~
②中学生弁論大会 13:00~
③アトラクション(演芸) 14:00~

【バス運行】

⑧役場 9:30 発 → 本別海地域センター 9:50 発 →

休憩(道の駅) → 根室 11:10 着(※昼食あり)

⑨根室 15:25 発 → 奥行 16:05 → 本別海地域 16:35 → 役場 17:00 着

*申込の際にバス利用の有無と乗車場所をお知らせください。(10 分前集合)

役員以外の方も、準備等ぜひご協力をお願いします。
あたたかい服装で会場へお越してください。
役員には改めてご連絡します。

『ふゆとぴあ北方領土クイズ大会』

2月3日(日) ~農村広場ふゆとぴあ会場~ ※荒天中止

10:00~13:00 署名活動

11:20~11:50 北方領土クイズ

【賞品、参加賞を用意しています】

※準備と打合せ 9:45~

戦後68年置き去りにされてきた北方領土問題

北方四島と海は大事な日本の領土です

一日も早い問題解決を!!

『北方領土返還要求別海町民大会』

【主催】千島連盟別海町支部【後援】別海町、別海町町内会連絡協議会、別海町女性団体連絡協議会

2月10日(日) ~尾岱沼白鳥まつり会場~

10:10~10:30 別海町民大会 ※荒天中止

主催者挨拶 千島連盟別海町支部長

来賓挨拶 別海町長、衆議院議員

大会決議 千島連盟別海町支部副支部長

シュプレヒコール 千島連盟別海町支部青年部長

【大会記念品(尾岱沼特産物)を用意しています】

※準備・打合せ 9:20~(机・椅子等の準備ほか)

署名活動 10:00~13:00まで行います。

融資相談会開催のお知らせ

北対協による相談会(個別相談)が根室市と中標津町で開催されます。

借入、資格の生前承継等ぜひご相談ください。いずれも9:00~17:00の時間帯です。

修学資金の借入れを希望される場合は、事前に借入資格の有無を確認しましょう。

【日程】平成25年1月23(水),24(木) 千島会館(根室市)

1月25日(金) 中標津町総合文化会館(しるべっと)2階第二研修室

※問合せ・相談は、北方領土問題対策協会札幌事務所(フリーダイヤル 0120-404-251、
又は011-205-6121)または支部推進員へ

関係者との意見交換・懇談会の予定

1/16 山本一太内閣府北方担当大臣との懇談会 根室市 臼田支部長、白崎部長

これからの後継者事業

2/9 後継者会議 札幌市 上月理事、大橋青年部副部長、和田さん

新聞報道から

◆**単独インタビューで安部首相は、価値観外交**という意味では今日（12/28電話で）会談した国の中でロシアは異質だ。プーチン大統領がアジアを重視していることが極めて重要だ。（中略）大統領とは何度も会談している。ロシアというのは（個人的にお互いを）知っているかどうかが大変だ。関係を生かし平和条約締結。北方領土問題解決をもう一度テーブルに乗せたい。（12/29読売新聞）

◆**森喜朗元首相は、9日のBS番組で安部首相の特使として2月に予定しているロシア訪問の際、プーチン大統領が昨年3月言及した「引き分け」の意味を確認したいとの考えを示した上で、「日露両政府がどういう形を引き分けだと思うか、大統領と首相に（議論を）やらせることだ」と強調。そのうえで両首脳「引き分け」の認識が一致すれば、最終的な決断をしたらいい」と述べた。**
（1/10読売新聞）

公益社団法人の移行について

千島連盟本部が平成25年度に予定している公益社団法人への移行について少し説明いたします。行政改革の一環として行う公益法人制度改革で、現行の「特例民法法人」は平成25年11月までに「公益社団法人」または「一般社団法人」を選択し、移行しなければなりません。

【いわゆる主務官庁制・許可主義を廃止し、法人設立と公益性の判断を分離する新制度で 公益目的事業を主目的とし、基準を満たした場合に公益法人と認定されます】

○公益法人への移行→ 社会的信用の確保、税制上の優遇措置、公益認定基準の制約
※移行については本部・支部一体が望ましいが、各支部の事業、経理、補助金等を考慮し独自性を尊重するため、支部は本部と緊密に連携する組織と位置付けられる方向です。従って支部は法的に公益社団法人を名乗れないこととなりますが、大きく事業内容が変わるものではありません。しかし、支部にも公益目的事業を行うという認識が求められ、会員の取り扱いも正会員＝本部会費を納める元島民・又はその後継者となります。

あとがき

★北方領土返還要求68年目。今年こそ今年こそ北方領土問題解決の展望が拓けますように。2月の啓発活動ご協力お待ちしております。今年もよろしく願いいたします。（A）